



望月 重美 社長

目 本の建築業界には、建てては壊す「スクラップアンドビルド」の概念がある。「しかし、環境問題や、不況と少子高齢化などで縮小する経済を踏まえると、今ある建物を大切に永く使っていく『リニューアル』の考えが重要だと思います」

こう話すのは、マンションの大規模修繕工事に関するコンサルティングを主体に展開する、株式会社ファーマの望月重美社長だ。

リニューアルとは、建物を調査・診断し、問題の原

因を究明した上で技術的な処置を施すこと。美観はもちろん、耐震などの安全性や、バリアフリー化や防犯などの利便性を付加して資産価値を高めるのも重要だ。「壊さない」ということは、廃棄物の発生を最小限に抑えられるため地球環境に優しい。当然、新築に比べて経済的です」(望月社長)

同社の顧客は首都圏をメインとしたマンションの管理組合。例えば、「アフターサービス2年目点検」というサービスを見ている。

マンションの新築2年目は、居住者の購入時に売主が出す項目について問題が補修するのが通常だ。しかし、管理組合のメンバーは一般人。不動産のプロではない。しかも、平日は働

いていて、土日にしか管理組合としての取り組みに携われないという人が多い。「共用部は管理会社や管理組合役員に、専有部やベランダは区分所有者に問題を指摘しろと言われても無理。専門家に相談すべきです」と説明する望月社長。同社では管理組合の会議に参加するなど、居住者とのコミュニケーションを重視している。共用部は調査・診断し、専有部である居室などについては説明会を開催し、どこを見るべきかなどを分かりやすく教えている。

2000年に個人事務所としてスタートした同社。昨年10月に会社化し、10年目となる今期は、さらなる飛躍を期しているという。「公明正大であることと、正義感をより重視していきたい。

たい。その具体的な取り組みの1つが、利益を追求しないことです」(望月社長)

3名のメンバーで構成されている同社。オフィスには必要が無ければ出勤せず、ITによる情報共有で経費を抑えるなど工夫している。

NPO法人での活動では人材育成と新技術テーマに

望月社長は、NPO法人のリニューアル技術開発協会の会長代行も務めている。同協会は、リニューアルに関する技術者の教育や、新技術の浸透と発展を目的に、約120社の会員企業で講習会や勉強会を開くなど活発に活動している。

「リニューアルはゼロから建てる新築とは違った難しさがあります。今あるもの

を調査し診断する。それをどう直すか。ここに高い技術で応えられる人材はまだまだ足りない。人材育成は日本の建築が次段階へ飛躍するためにも不可欠です」と望月社長は話す。リニューアルの代表企業といえる同社。今後も建築業界を先導する小積もりだ。(森)

【会社データ】
本社 神奈川県横浜市神奈川区栄町6-1-1 2904
☎ 045-444-0091
創業 2000年1月
資本金 300万円
事業内容 リニューアルのコンサルティング、マネジメント
<http://www.fa-ma.jp>

ファーマ
日本の建築に「リニューアル」の概念を！
環境や経済を踏まえ、マンション管理組合に貢献
(神奈川)

アンケート調査	設計
全体目視調査・写真撮影	数量核算および設計予算の作成
仕上材付着力試験	長期修繕計画書作成
コンクリート中性化試験	工事会社の選定補助
鉄筋の被り厚さ計測	工事説明会補助
シーリング抜取試験	工事監理
給排水設備調査	アフター対応

同社のサービス